Panasonic

吸音ソフト壁材

「マイルドトーン」施工説明書 施工店様用

・この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。
・屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。
・施工前にこの施工説明書を必ずお読みいただき、正しく施工してください。
・同梱の取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意　「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

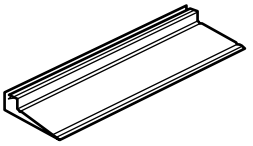
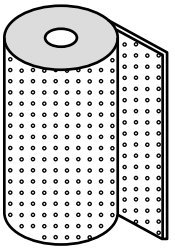
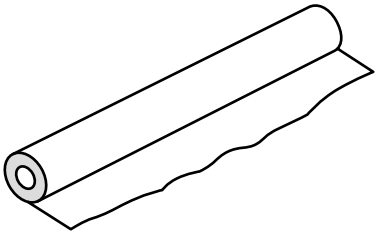
⚠ 警告

禁止	◆商品を熱の発生する器具・設備（照明器具・ストーブなど）に近づけない　また、そのようなおそれのある場所に施工しない （熱の影響により変形・変色・溶解・火災などの原因となります） ◆本商品は居室内装用であり、浴室・屋外などの常時湿気や水のかかるおそれのある場所には施工しない
必ず守る	◆本商品は壁面仕上材であり、壁の強度は別途下地で確保する　また床・天井面には施工しない ◆スイッチ・コンセントまわりの取付、取はずしの際はブレーカをOFFにして作業する

⚠ 注意

必ず守る	◆下地は「厚さ9.5㎜以上の石膏ボード」、または「厚さ9㎜以上の合板」を使用する それ以外の壁面には施工しない （固定ライナーの固定が不充分となり、施工後に固定ライナーが浮いてきたり、剥がれてくるおそれがあります） ◆下地（せっこうボード、合板）の継ぎ目やねじ部、エアコンの配管部は、パテ処理、或いはテープ留めを行い、気密処理をする　パテ、テープは下地と近似色のものを使用する （空気の流れにより、仕上げ材の専用ファブリックに汚れが付着するおそれがあります） ◆スイッチ、コンセントの壁開口部は必ず、防気・防塵カバーなどを用いて気密処理をする （空気の流れにより、仕上げ材の専用ファブリックに汚れが付着するおそれがあります） ◆固定ライナー取付の施工は指定のステープルで、指定ピッチを守りしっかり留め付ける （剥がれてくる恐れがあります） ◆仕上材の専用ファブリック施工前に、手や衣服を清潔にし、また周辺清掃・養生を十分に行う （汚れやしみが付くおそれがあります） ◆専用ファブリックの施工には、必ず専用の施工ヘラをご使用する （仕上材の専用ファブリックを傷めるおそれがあります） ◆施工前に、施工場所の床面・化粧材にキズや凹み等が発生しないよう充分な養生をする ◆壁面にピン、くぎ、ねじなどを使用する際は必要に応じ下地補強の上、下地までしっかり留め付ける （本商品自体にピン、くぎ、ねじなどの保持力はありません。また意匠上仕上面が部分的にへこんで見えます）

部材名

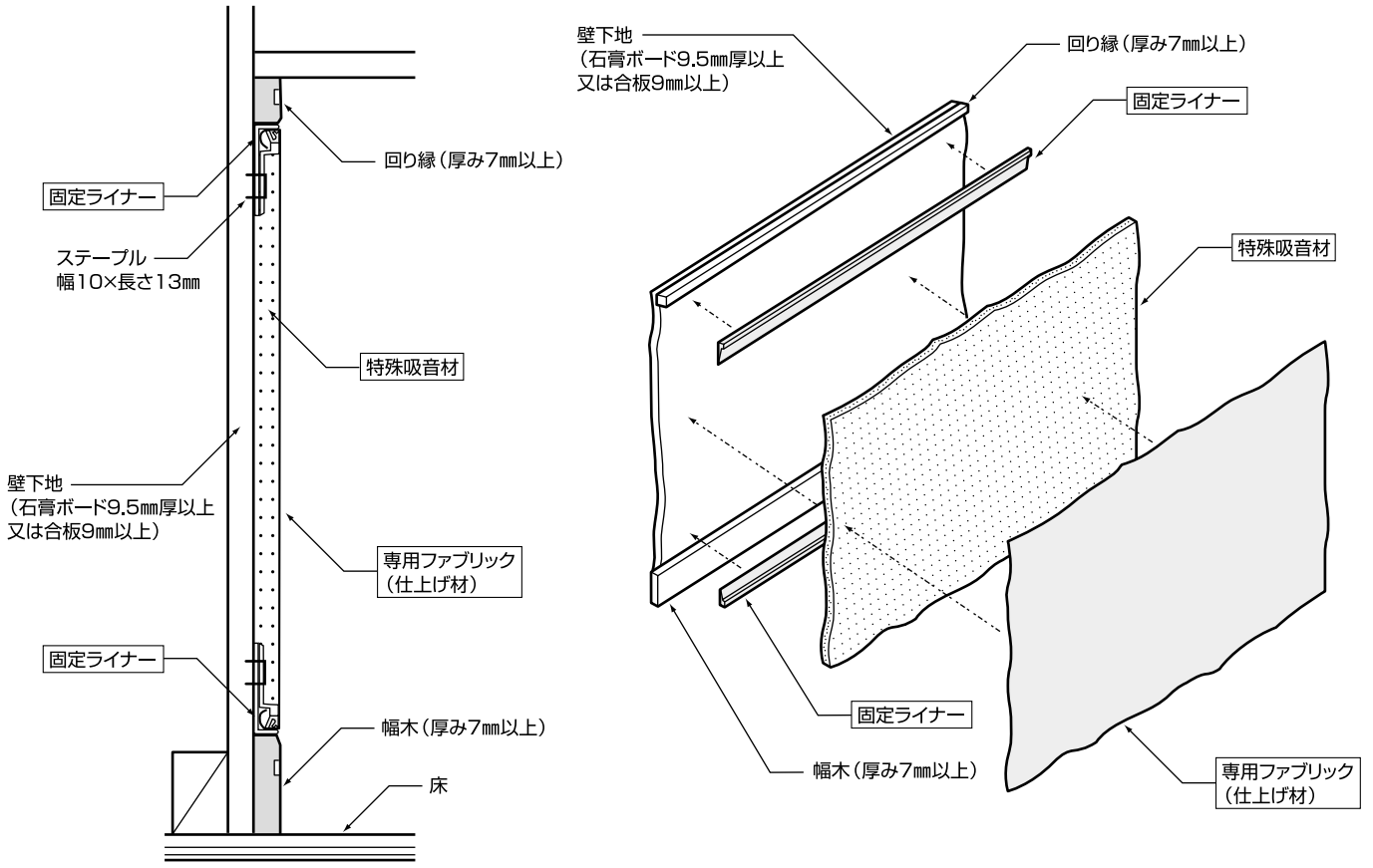
部　材	固定ライナー	特殊吸音材	専用ファブリック（仕上げ材）	専用施工ヘラ
品　番	VKA210	VKA211	㊗VKA213-○○□□	VKA219
姿　図				
材　質	ABS樹脂	特殊ポリエステル繊維	ポリエステル繊維生地	ステンレス、他
用　途	施工箇所の周囲に取付け、専用ファブリックを固定します。	専用ファブリックの背後に施工し、高い吸音性を発揮します。	本商品の専用仕上材となります。 上記品番末尾の○○□□には色柄別品番が入ります。	専用ファブリックを固定ライナーに差し込む専用治具

※施工時の端材は上記材質を確認の上、現場の指示に基づき適切な処理を行ってください。

施工の大まかな流れ

1 施工前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3ページ
2 固定ライナーの取付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4ページ
3 特殊吸音材の施工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6ページ
4 専用ファブリックの施工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6ページ
5 コンセントまわりの処理・張り上がりの確認・・・・・ 8ページ

施工概要図



1 施工前の準備

施工に必要な工具、他　（施工前に準備ください）

・エアータッカー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（固定ライナー、特殊吸音材の取付けに使用）
・ステープル（幅10㎜×長さ13㎜）・・・・・・・・・・（　　同　　上　　）※塩害の恐れのある地域ではSUS製の使用をおすすめします。
・剪定ハサミ太枝用（ない場合はのこぎり）　・・・（固定ライナーの切断に使用）
・裁ちばさみ（布切りハサミ）・・・・・・・・・・・・・・（特殊吸音材、専用ファブリックの切断に使用）
・専用施工ヘラ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（専用ファブリックの留付に使用）
・ドライバー（＋、ー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（コンセントプレート等の取り外し・取付けに使用）
・カッター　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（必要に応じて使用）
・養生シート、養生用パネル、マスキングテープ等　（施工時、床面・化粧材等の養生に使用）

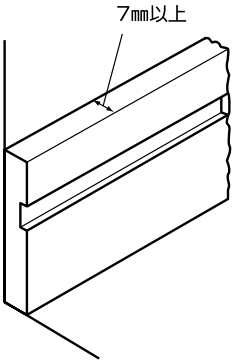
施工の前に、下記の項目をチェックしていただき、全て問題ないことを確認してください。

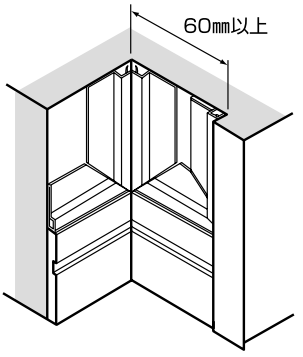
◆下地の確認

□ ・下地が石膏ボード（厚み9.5㎜以上）、合板（厚み9.0㎜以上）であるかどうかを確認してください。
（コンクリート下地等には施工できません）
□ ・下地（せっこうボード、合板）の継ぎ目やねじ部、エアコンの配管部は、パテ処理、或いはテープ留めを行い、気密処理を行ってください。パテ、テープは下地と近似色のものを使用してください。
（空気の流れにより、仕上げ材の専用ファブリックに汚れが付着する恐れがあります）
□ ・スイッチ、コンセントの壁開口部は必ず、防気・防塵カバーなどを用いて気密処理を行ってください。
（空気の流れにより、仕上げ材の専用ファブリックに汚れが付着する恐れがあります）
□ ・下地の表面に突起物（くぎ、ねじなど）がないようにしてください。また、ホコリ、ゴミ、油汚れなどを取り除いてください。
（施工後のトラブルの原因になります）
□ ・下地が濡れていたり、湿っている場合は下地が乾燥するまで施工しないでください。
□ ・下地が平滑（不陸がない）で、出隅部分、入隅部分に歪がないか確認してください。
（平滑でない下地への施工は専用ファブリック（仕上げ材）のしわの原因になります）
□ ・施工面の下地は1色であることを確認してください。
（下地の色の影響で、仕上後色ムラや色違いに見える原因になります）

◆周囲との取合い・納まりの確認〈※造作材等は本商品施工前に予め施工してください。〉

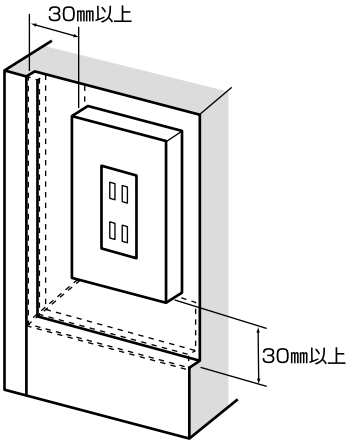
□ ・幅木、廻り縁、ドア枠、窓枠は施工下地面よりチリ寸法が7㎜以上あることを確認してください。
（7㎜未満の場合、固定ライナーの白い色が見えやすくなります）
□ ・入隅とドア額縁などの間隔が狭い場所の幅が最低60㎜以上あることを確認してください。
（固定ライナーが近接して2本並ぶ時は、60㎜以上のスペースが必要です）





◆周囲との取合い・納まりの確認

□ ・スイッチ、コンセントは、ドア枠・幅木・廻り縁・窓枠・入隅より30㎜以上離れた位置に設置されていることを確認してください。
（30㎜未満では固定ライナーの取付けができなくなります）
□ ・スイッチ、コンセントの取付けが完了していることを確認してください。
（専用ファブリックの施工後では、スイッチ、コンセントの取付けができません）
□ ・吸音ソフト壁材の施工後にエアコン・カーテンレール等を取付け予定の場合は、取付け予定位置に厚み9㎜の合板等で下地面から底上げ処理をしてください。
（下地で底上げ処理をしない状態で取付けると特殊吸音材があるので取付け部分がへこんで見えます）

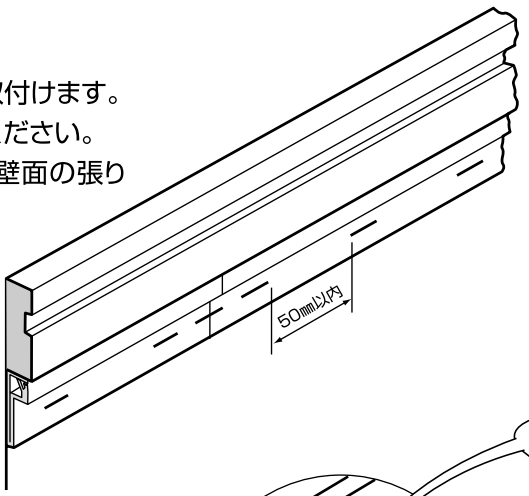


2 固定ライナーの取付

壁一面ごとに、開口部等を含む全周囲に固定ライナーが設置されるよう取付を行います。

◆基本

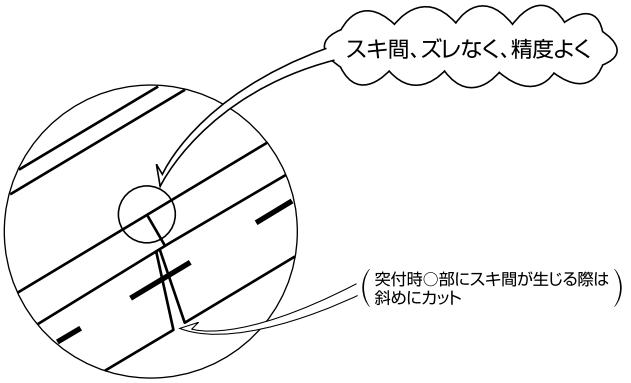
・幅木、廻り縁等に沿って固定ライナーを取付けます。
・ステープルは50㎜以内の間隔で留めてください。
（間隔が広いと固定ライナーが波打ち、壁面の張り上がりにシワになる可能性があります）
（幅木、廻り縁等のスキ間が生じないようにしてください）



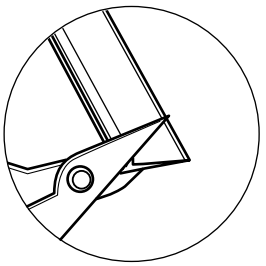
注意
ステープルピッチは50㎜以内にしてください。また、端部等必要に応じて増打ちしてください。

◆継ぎ足す場合

・端を直線にカット又は若干斜めにカットし固定ライナーをつなげます。
（スキ間、ズレのないよう精度よくつなげてください）
（端部分に留めるステープルは2本の固定ライナーにかかるようにしてください）

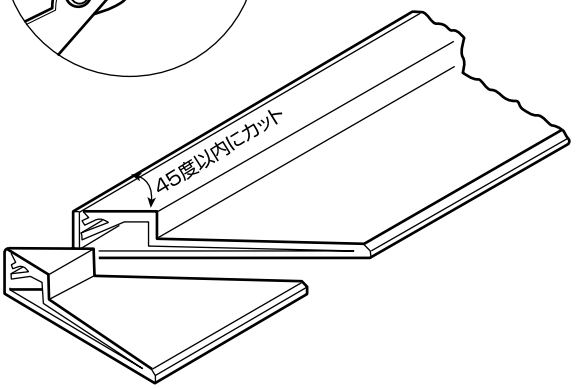


・**固定ライナーの接続間にスキマが発生する場合**
固定ライナーの端を若干斜めに切断して取付けてください。
・**固定ライナーの切断**
剪定ハサミ（太枝用） 又は のこぎり で切断してください。



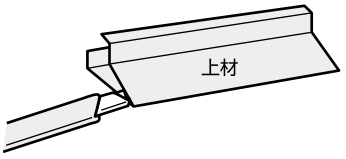
◆コーナー部（角部）

・固定ライナーどうしの端を斜めに切断してください。
（45度以内に切断してください）

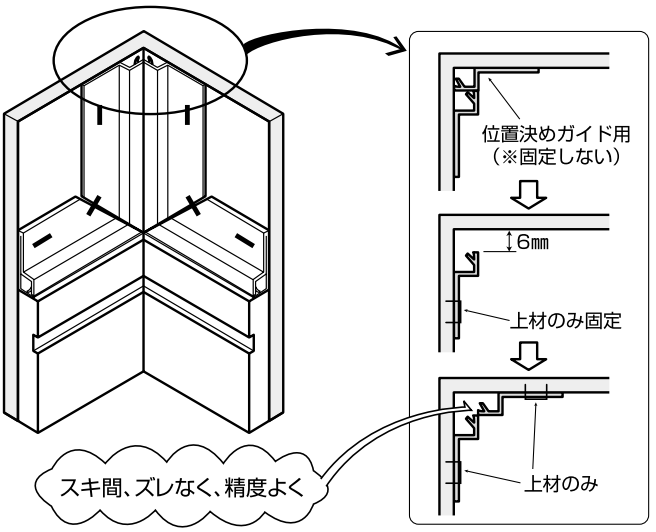


◆入隅の場合

・入隅部は固定ライナーを下図のように分割し、上材のライナーのみを使用します。
（折り目にカッターナイフを入れ横にすべらせるようにし上下を分割します）

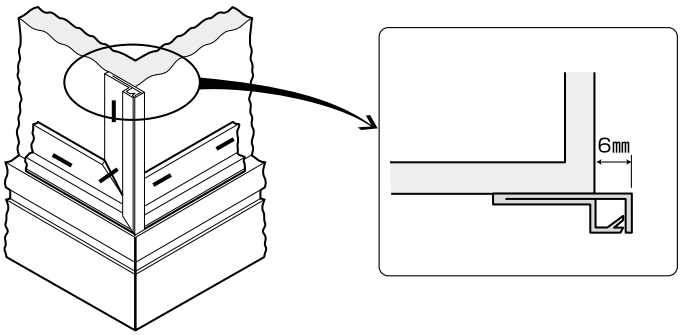


・隅から固定ライナーを6㎜離して取付けてください。
（分割時の上材の厚みが6㎜です。1本目位置決めの際、定規とします）
その際、入隅で対抗しあう固定ライナーどうしの角をぴったりくっつけてください。



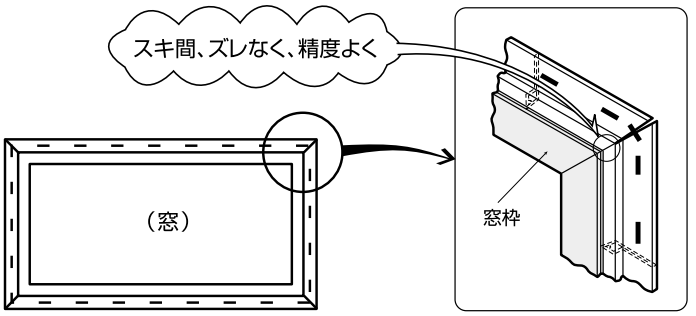
◆出隅の場合

出隅の片方の面から固定ライナーを6㎜飛び出させて取り付けてください。
（もう片方面には固定ライナーの取り付けはしません）



◆窓・ドア廻りの場合

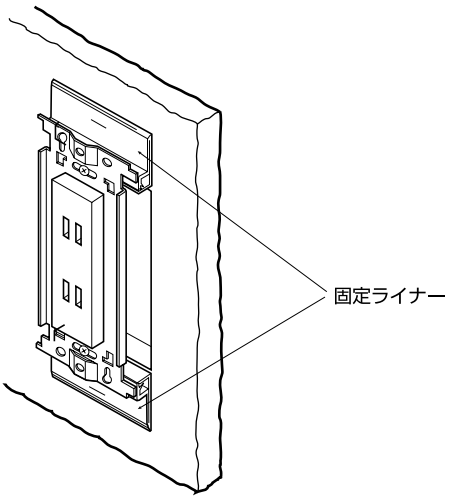
開口部の縁に沿って固定ライナーを取り付けてください。



◆コンセント/スイッチの場合

注意 ・電源ブレーカーをOFFにして作業してください。

コンセント/スイッチ取付枠の下に固定ライナーを入れ、下地面からの底上げ処理をしてください。

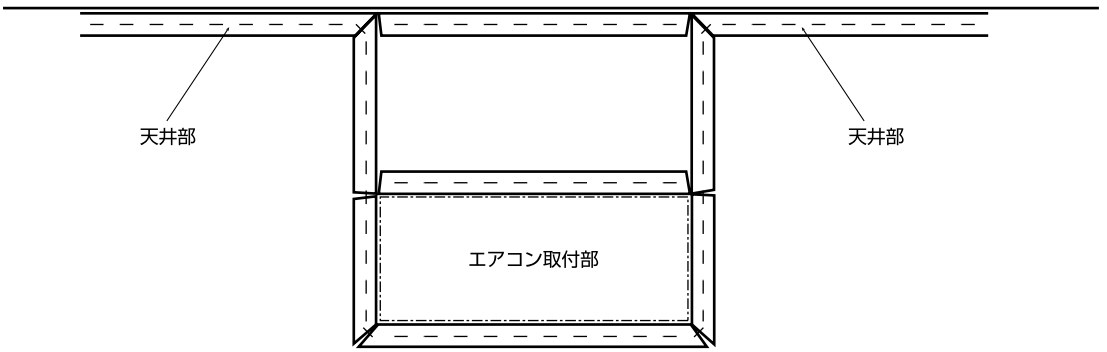


◆エアコンが取付されていない場合

・エアコン取付予定位置に、厚み9㎜合板等で下地面から底上げ処理をしてください。
（吸音ソフト壁の施工後の取付けでは、特殊吸音材の分、仕上面がへこんで見えます）

◆エアコンが取付されている場合

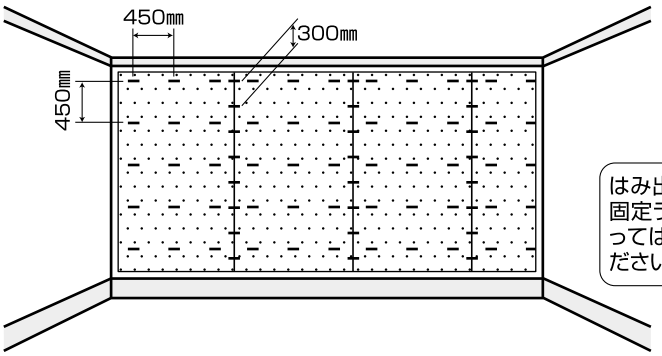
・エアコン廻りに固定ライナーを取付ける 及び エアコン上部両端にも固定ライナーを取付けてください。

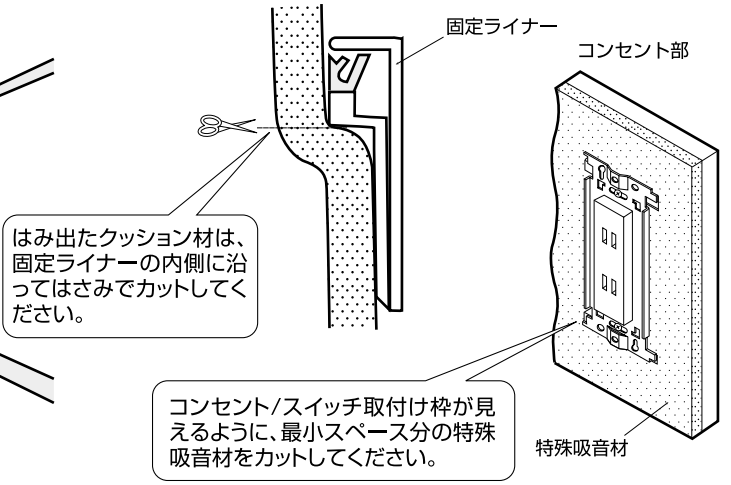


3 特殊吸音材の施工

注意 ・特殊吸音材には表裏があります。必ず不織布シート面が下地側（手前が綿面）となるよう施工してください。

・既に取付けされている固定ライナーの内側に、特殊吸音材を縦横450㎜ピッチ程度でステープル留めしてください。
・特殊吸音材の継目は、スキ間・重なりのないよう突付け、接合部は300㎜ピッチでステープル留めしてください。
（特殊吸音材の浮き上りが目立つところは、浮き上り部の中央にステープル留し、浮き上りを抑えてください）





4 専用ファブリックの施工

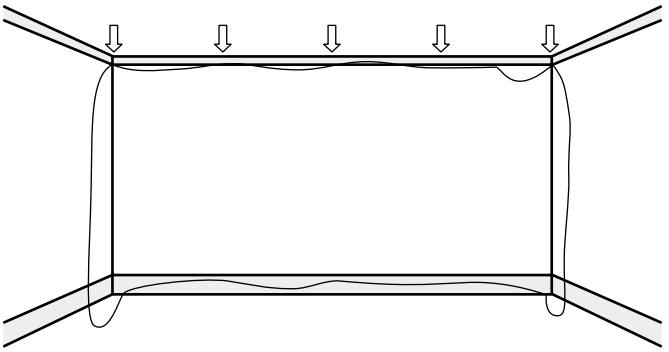
①専用ファブリック（布クロス）の仮留め

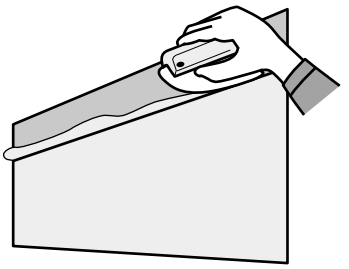
・壁面上部中央から専用ファブリック（布クロス）をヘラで差し込み、約0.5mおき目安に仮留めをしてください。

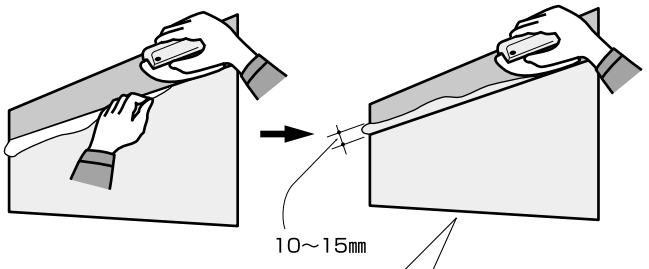
必ず守る
・施工前に固定ライナー、吸音材の施工状態に問題がないことを再度確認してください。
・ファブリックに汚れが付着しないよう、手・衣服を清潔にし、周囲の整理・清掃を行ってください。
・施工には専用の施工ヘラを使用してください。

②上部の留め

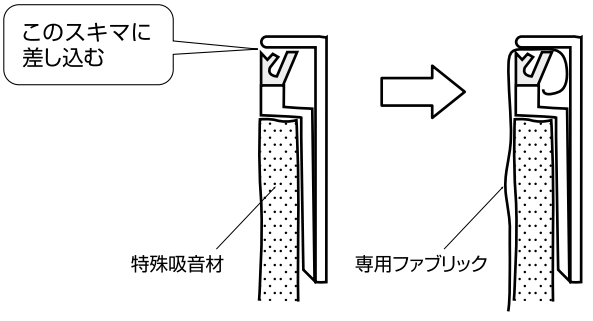
・仮留めした状態で壁面中央から横方向に、専用ファブリックを引っ張りながらヘラで差し込んでください。







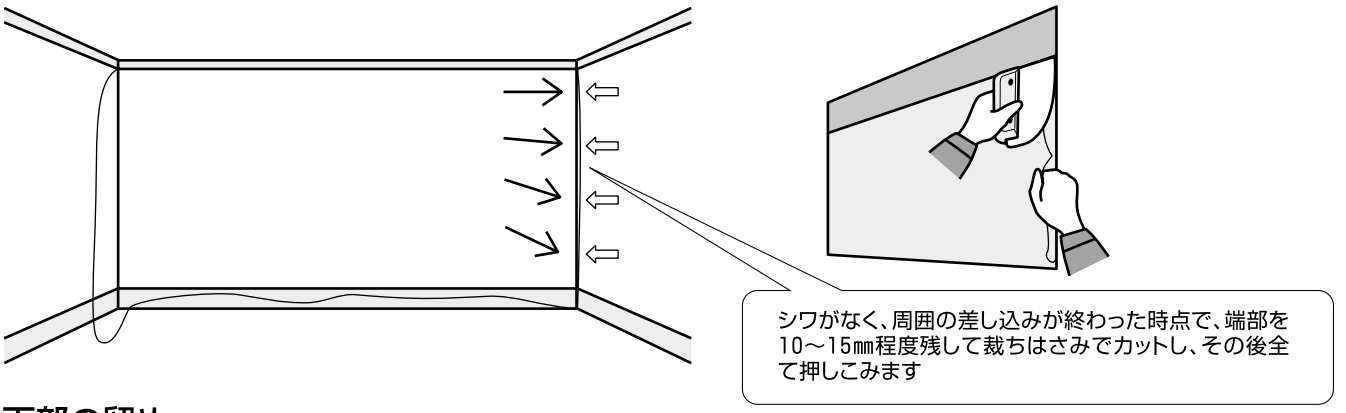
シワがなく、周囲の差し込みが終わった時点で、端部を10～15㎜程度残して裁ちはさみでカットし、その後全て押しこみます。



注意 ・専用ファブリックは一度切り過ぎると補修不可能で壁一面分の取替が必要になります。細心の注意を払ってください。

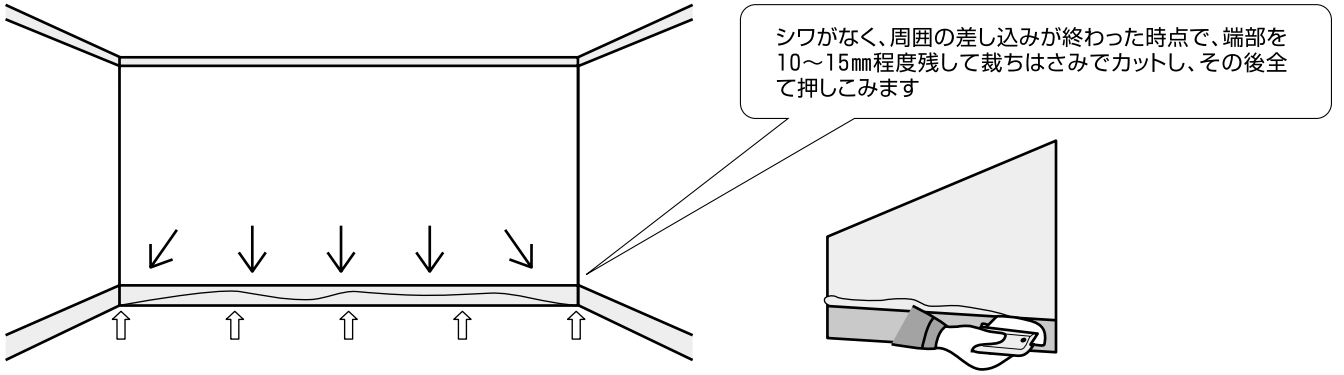
③縦方向の留め（両端）

・上部から下横方向に、専用ファブリックをシワが出ないように引っ張りながら差し込んでください。



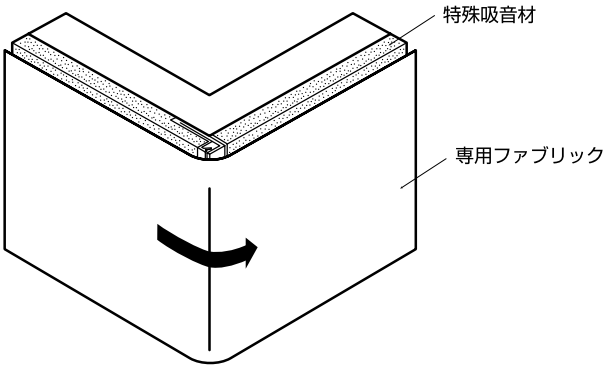
④下部の留め

・下部中央で真下方向に専用ファブリックを引っ張りながらヘラで差し込んでください。（中央から端まで順次行なう）



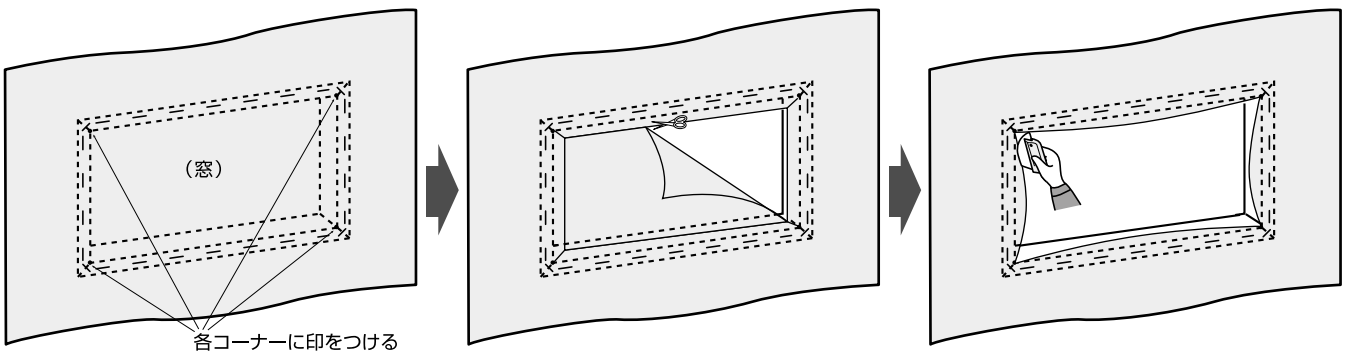
◆出隅

・専用ファブリックを切らずにそのまま廻し込んでください。



◆窓/ドアまわり

注意 ・専用ファブリックは一度切り過ぎると補修不可能で壁一面分の取替が必要になります。細心の注意を払ってください。

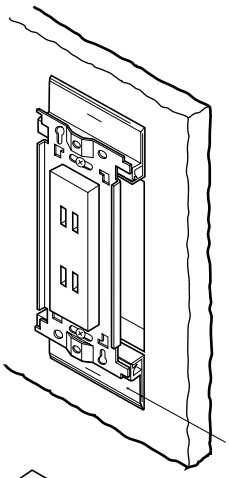


- 一度専用ファブリックで窓/ドア部分ごと覆った後、窓/ドア部分のコーナーにあたる部分に鉛筆等で軽く印をつけてください。
- 固定ライナー側から20～30㎜残るように専用ファブリックを裁ちばさみでカットしてください。
- カット部の各コーナーから、鉛筆等の印に向けて少しづつ斜めにハサミを入れて角をおさめてください。
- コーナーから差込み、隅を決めた後、残り部分を差込んでください。
- 専用ファブリックが残り過ぎて、差込みづらい場合は、適宜　専用ファブリックをカットし調整しながら差込んでください。

5 コンセントまわりの処理・張り上がりの確認

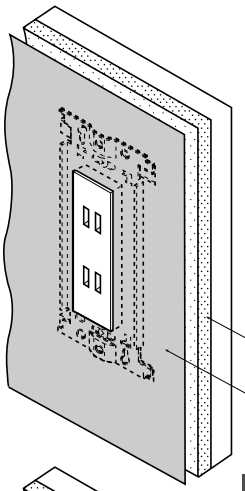
① コンセント/スイッチ廻り

注意 ・作業前に電源ブレーカーがOFFであることを確認してください。
※ファブリックは一度切り過ぎると補修不可能で、壁面分取替が必要になります。細心の注意を払って作業を行ってください。

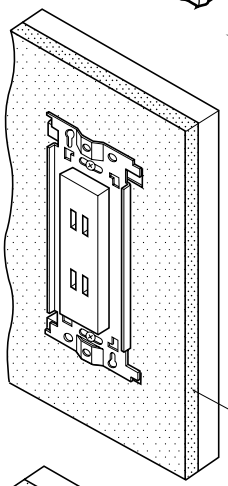


必ず守る

必ず、コンセント/スイッチ取付け枠が固定ライナーで下地面から底上げされていることを確認してください。
（されていなければ、底上げ処理をしてから専用ファブリックの取付け作業をする）

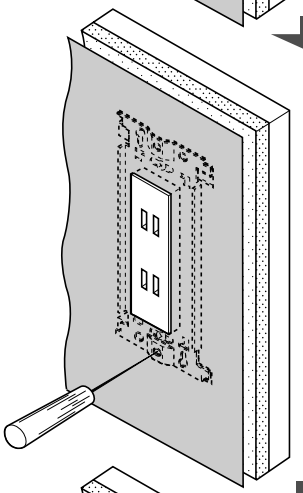


コンセント/スイッチ部分が見えるように、最小スペース分の専用ファブリックをカットします。

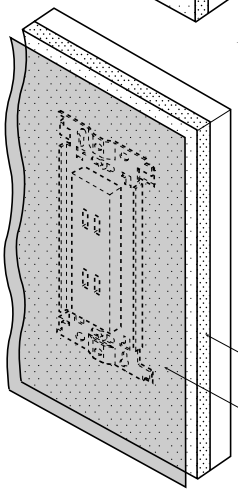


必ず守る

コンセント/スイッチ取付け枠が見えるように、最小スペース分の特殊吸音材をカットされていることを確認してください。

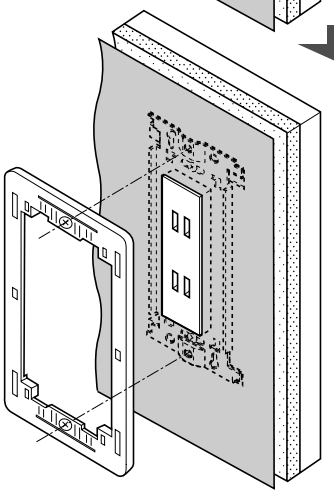


ねじ留め部分を先の尖った物で専用ファブリックに穴をあけ、ねじ留めしやすくする。



必ず守る

専用ファブリックの上から手で触り、下にコンセント/スイッチ取付け枠があることを確認してください。



専用ファブリックの上にプレート枠を当てネジ留めしてください。
次に、プレートを取り付けてください。

② 最後に壁面の張り上がりにシワ、タルミ等のないことを確認し、必要に応じて専用ヘラを用いて微調整してください。

マイルドトーンの施工手順の動画を公開しています。
パソコン、スマートフォンや携帯電話でもご覧いただけます。

●パソコン・スマートフォン・携帯電話からYouTube動画をご覧いただけます。
http://www.youtube.com/user/PanasonicSumaiBiz#p/u/0/syAg7c5y-FI
（YouTubeサイトで「マイルドトーン」と検索してください）

※防音建材のホームページでも公開しています。
http://sumai.panasonic.jp/cwf/bouon/

携帯電話用QRコード

※携帯電話、スマートフォンから動画をご覧いただく場合は、パケット通信料金がかかります。
料金が高額にならないよう、パケット定額制のご利用をお勧めします。
使用できる各種料金プランの詳細については、ご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

パナソニック株式会社 内装システムビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012 Dt1201-0